

2021年6月22日

メディア環境研究所「テレビ番組視聴意識調査2021」より

若者ほど「テレビ番組」が「とても好き」。 令和のテレビっ子は、テレビ受像機だけでなく、 過半数がスマホを利用し、自由に楽しむ

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所(本社:東京都港区、所長:島野真)は、「テレビ番組視聴意識調査」を実施しました。全国15～69才を対象に、テレビ局の制作したドラマ、バラエティ、報道、アニメなどの「テレビ番組」への好意度と視聴スタイルについて調査した結果から、主なファインディングスをご紹介します。

① 「テレビ番組」が「とても好き」な人の割合は10～20代で33.9%と最も多い

「テレビ番組」への好意度を5段階(「とても好き」「やや好き」「どちらともいえない」「あまり好きではない」「全く好きではない」)で聴取したところ、「とても好き」の割合が「10～20代」で33.9%、「30～40代」は23.9%、「50～60代」は27.2%となった。

② 10～20代では、「テレビ番組」の視聴機器は「テレビ受像機」に加え、過半数が「スマートフォン」を利用している

テレビ番組の視聴機器を聴取(複数回答)したところ、10～20代で、最も多いのは「テレビ受像機」(63.7%)だが、上の年代に比べると低く、「スマートフォン」は54.6%と過半数。その他「パソコン」(21.1%)、「タブレット」(16.3%)など、様々な機器で視聴していることがわかる。また、10～20代がテレビ番組の視聴に「最もよく利用する機器」は「テレビ受像機」で53.6%、次いで「スマートフォン」が34.7%となった。

③ 若者ほど「テレビ番組」を見る方法も多様化。これまでの「リアルタイム放送」「ビデオ録画」だけでなく、「無料動画」「見逃し視聴サービス」「有料動画配信サービス」も活用

50～60代はテレビ番組を見る方法が「リアルタイム放送」(80.1%)と「ビデオ録画」(57.9%)に集中している。一方、10～20代は「リアルタイムのテレビ放送」が67.1%と最も多いが、「無料動画」(44.4%)、「見逃し配信サービス」(37.2%)、「有料動画配信サービス」(37.0%)も他の年代に比べて多く、多様な方法で視聴している。

*「無料動画」「見逃し視聴サービス」「有料動画配信サービス」などは具体サービスを例示 (⇒詳細P3参照)

■「テレビ番組視聴意識調査2021」概要

調査エリア: 全国
調査方法: インターネット調査
調査対象者: 15～69歳の男女
サンプル数: 1175サンプル
調査期間: 2021年5月26日(水)～6月2日(水)

■ お問い合わせ先 ■

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 山崎・山崎

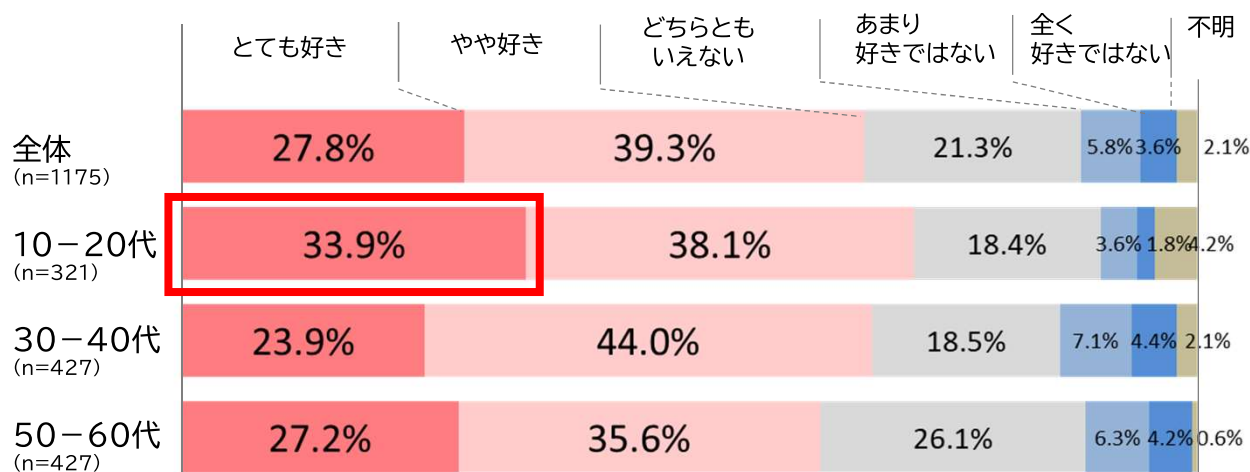
mp.webmaster@hakuhodody-media.co.jp
03-6441-9347

【各ファインディングス詳細】

① 「テレビ番組」が「とても好き」な人の割合は10－20代で33.9%と最も多い

「テレビ番組」への好意度を5段階(「とても好き」「やや好き」「どちらともいえない」「あまり好きではない」「全く好きではない」)で聴取

Q.あなたはテレビ局が制作したドラマやバラエティ、報道、アニメといった「テレビ番組」を好きですか？



② 10－20代では、「テレビ番組」の視聴機器は「テレビ受像機」に加え、過半数が「スマートフォン」を利用している

Q.あなたはテレビ局が制作した「テレビ番組」(ドラマやバラエティ、報道、アニメなど)をどのような機器で見えていますか？ (「テレビ番組」は見えない人を除く)

<利用する機器:複数回答>

	n	テレビ受像機	スマートフォン	パソコン	タブレット	その他
全体	1102	81.4%	29.5%	17.6%	11.3%	0.4%
10－20代	294	63.7%	54.6%	21.1%	16.3%	1.0%
30－40代	401	83.9%	28.2%	19.7%	10.8%	0.3%
50－60代	407	91.8%	12.7%	13.0%	8.3%	0.0%

<最もよく利用する機器>

	n	テレビ受像機	スマートフォン	パソコン	タブレット	その他
全体	1102	76.3%	15.0%	5.8%	2.7%	0.2%
10－20代	294	53.6%	34.7%	6.8%	4.2%	0.6%
30－40代	401	79.2%	12.4%	6.2%	2.2%	0.0%
50－60代	407	89.8%	3.2%	4.7%	2.2%	0.0%

全体より +10pt以上 +5pt以上 -5pt以下 -10pt以下

③ 若者ほど「テレビ番組」を見る方法も多様化。これまでの「リアルタイム放送」「ビデオ録画」だけでなく「無料動画」「見逃し視聴サービス」「有料動画配信サービス」を活用

Q.あなたはテレビ局が制作した「テレビ番組」(ドラマやバラエティ、報道、アニメなど)を、どのような方法で見えていますか？(複数回答)

	n	リアルタイムのテレビ放送	ビデオ録画	無料動画 (YouTubeなど)	見逃し視聴サービス (TVerなど)	有料動画配信サービス (dアニメストア、Netflix、Amazon Prime Videoなど)	インターネットテレビ (AbemaTVなど)	その他	「テレビ番組」は見えていない
全体	1150	75.7%	55.7%	32.7%	30.1%	26.0%	8.7%	0.3%	4.2%
10-20代	307	67.1%	49.7%	44.4%	37.2%	37.0%	13.3%	0.3%	4.3%
30-40代	418	77.5%	57.8%	33.2%	30.8%	25.2%	8.7%	0.3%	4.1%
50-60代	425	80.1%	57.9%	23.7%	24.2%	18.9%	5.4%	0.3%	4.1%

全体より ■ +10pt以上 ■ +5pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

詳細レポートについてのお問い合わせ

「テレビ番組視聴意識調査2021」では本リリース内容に加えて、
「好きなテレビ番組の楽しみ方」や「テレビ番組の選び方」についても聴取しています。
詳しく知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 広報室
メディア環境研究所

山崎
野田

mp.webmaster@hakuodody-media.co.jp
03-6441-9347
info@mekanken.com